

【情報提供】透析用穿刺針の供給に関する情報提供について

透析治療に使用される穿刺針の一部製品について、製造委託先工場で火災が発生したことにより、今後の供給に影響が生じる可能性があるとの情報を受けています。

現在、厚生労働省、日本透析医学会、メーカー等が連携し、製品の安定供給に向けた対応を進めています。

国内メーカーへの増産依頼や海外からの調達なども含め、必要な供給確保策が検討されています。

このため、一部の透析医療機関では、従来使用していた穿刺針とは異なる製品を使用する場合があります。

製品によって穿刺時の感覚や使用方法に若干の違いが生じる可能性がありますが、各医療機関において安全性を確認したうえで使用されます。なお、現時点において透析治療そのものが受けられなくなる状況ではありません。

関係機関において供給確保に向けた取り組みが進められていますので、会員の皆さんから問い合わせがあった際には、現時点での状況についてご説明いただき、冷静な情報共有にご協力くださいますようお願いいたします。

今後、新たな情報が入りましたら、改めてお知らせいたします。

▼参考：日本透析医学会「透析用カニューラ（穿刺針）の供給に関するお知らせとお願い」

<https://www.jsdt.or.jp/info/4810.html>

全国腎臓病協議会 事務局